

しくじり症例から学ぶ 精神科の薬

contents

病棟で自信がもてる適切な薬の使い方を
精神科エキスパートが教えます

はじめに.....	3
本書の見かた	8

chapter

1

不眠（せん妄ハイリスクの場合）

10

①自信をもって使える精神科の薬を増やそう！／②不眠の患者さんがせん妄を発症してしまった症例／③どこが“しくじり”だったのか？／④せん妄の発症リスクを考慮した不眠症治療薬とは？／**処方例集**

コラム 私がふだんの臨床で大切にしていること①

～「そうなんです」を引き出す 井上真一郎 26

chapter

2

不眠（せん妄の発症リスクが低い場合）

28

①不眠の患者さんが転倒・骨折してしまった症例／②しくじりポイントを探せ！／③不眠症かどうかの判断は，“昼”的症状に着目する！／④せん妄の発症リスクが低い患者さんに対する不眠症治療薬とは？／⑤内服中のベンゾジアゼピン受容体作動薬をどうするか？／**処方例集**

コラム 私がふだんの臨床で大切にしていること②

～“大人の発達障害”的視点を患者さんの評価や対応に活かす 井上真一郎 41

chapter

3

低活動型せん妄

43

①多くの医師は、せん妄を正確に診断できていない！？／②活気のない患者さんが誤嚥性肺炎を起こしてしまった症例／③しくじりポイントを探せ！／④そもそも、病棟スタッフに“低活動型せん妄”という概念がない！？／⑤低活動型せん妄とうつ病の鑑別ポイントを知っておこう！／⑥見当識障害や注意障害をどう評価する？／⑦低活動型せん妄とうつ病の対応の違いを整理しておこう！／**処方例集**

コラム 私がふだんの臨床で大切にしていること③～気がかりを尋ねる 井上真一郎 57

chapter

4

過活動型せん妄

59

①せん妄の対応に難渋し、長期間の身体拘束でDVT（深部静脈血栓症）を併発してしまった症例／②今回のしくじりポイントは7つ！／**処方例集**

コラム リエゾン精神科医の魅力とは？～多様なスキル・多職種との協同 平山貴敏 78

5 うつ病・適応障害

79

- ①うつ病と診断して抗うつ薬を開始したものの、結果的に中止となってしまった症例／②がん患者さんでは、①抑うつ気分 ②食欲不振 ③不眠の3つがみられやすい／③スルピリドを安易に出さない！／④ミルタザピンを内服してもらうためのコツ／⑤抗うつ薬は、増やしてナンボのもの（増やしてこそ価値がある）／⑥抗うつ薬のなかでも、ミルタザピンとエスチタロプラムを使いこなそう！／⑦実は…うつ病ではなかった可能性！？

／**处方例集**

■**Q&A** リエゾン精神科医の魅力とは？～“裏方”としての役割 大矢 希 93

6 パニック障害・発作

94

- ①パニック発作をきたした患者さんが、救急受診をくり返すようになってしまった症例／②パニック発作を起こすと、患者はまず精神科以外の診療科を受診する／③パニック障害と過換気症候群との違い／④すぐに“精神的なもの”と決めつけない／⑤パニック障害の薬物療法／⑥救急外来ではどのような声掛けをするか？

■**Q&A** リエゾン精神科医の魅力とは？～リエゾン精神科医の美学 和田佐保 106

7 アルコール依存症・離脱せん妄

107

- ①多量飲酒の患者さんが食道がんの手術をした後、アルコール離脱せん妄をきたした症例／②アルコール依存症の患者さんは、生活習慣病で外来通院しがち＆健診で引っかかりがち／③アルコール依存症の患者さんは、飲酒量を過少申告しがち／④アルコール依存症の患者さんは、優しく尋ねられるとつい本音を話しがち／⑤入院中はアルコール離脱症状の出現に目を光らせておく／⑥アルコール離脱症状の出現が予測される場合の薬剤指示とは？／⑦アルコール依存症そのものを治療するために

■**Q&A** リエゾン精神科医の魅力とは？～信念対立を解決する：主治医は誰？ 貞廣良一 120

8 精神科の薬の処方力スケード

121

- ①多くの精神科の薬を処方された患者さんが入院となった症例／②処方カスケードとは？／③知識を総動員しながら、想像力を働かせてみよう！／④処方カスケードを解決しよう！

■**Q&A** リエゾン精神科医の魅力とは？～ココロもカラダも救うために 兼久雅之 129

9 睡眠薬のポリファーマシー

130

- ①多くの睡眠薬を処方された患者さんが入院となった症例／②ベンゾジアゼピン受容体作用薬はポリファーマシーになりやすい／③エチゾラムにご用心！／④「睡眠薬がポリファーマシーになっていないか？」という視点をもつ／⑤処方医への十分な配慮を忘れずに

■**Q&A** リエゾン精神科医の魅力とは？～次世代につなぐ周産期メンタルヘルス ... 須田哲史 139

10 周術期に精神科の薬を内服している患者への対応

140

- ①精神科の薬を内服している患者さんが術後に精神症状をきたした症例①／②診療情報提供書の依頼のしかた／③精神症状の悪化？それとも…？／④等価換算表の活用／⑤

精神科の薬を内服している患者さんが術後に精神症状をきたした症例②／⑥精神症状の悪化？それとも…？

コラム リエゾン精神科医の魅力とは？

～ただ、ただ、苦しむ人のそばにそっと寄り添う 久保田陽介 152

chapter

11

認知症の患者に抗認知症薬は必要か？

153

①認知症の患者さんは何科を受診する？／②抗認知症薬の処方カスケード／③抗認知症薬を安易に処方してはいけない理由／④BPSDに対するアプローチ／⑤レビー小体型認知症の可能性を考える

コラム リエゾンコンサルテーションに携わっての気づき 伊達泰彦 166

chapter

12

ステロイドによる精神症状

167

①精神症状があっても精神科受診を拒否された症例／②ステロイドによる不眠に対する薬物療法／③躁状態の評価ポイントは“行動観察”／④ステロイド投与中にみられる躁状態に対する薬物療法

コラム リエゾン精神科医の魅力とは？

～これからのAI（人工知能）活用の未来 五十嵐江美 177

chapter

13

周産期における精神科の薬

178

①もしも妊婦の患者さんに、不眠や気分の落ち込みをみとめたら？／②しくじりポイント①：プロチゾラムの中止／③しくじりポイント②：パロキセチンの投与／④しくじりポイント③：精神科受診のすすめ方／⑤添付文書における精神科の薬の位置づけ（『禁忌』『準禁忌』『有益性投与』）

コラム リエゾン精神科医の魅力とは？～病院という組織のなかでのリエゾン 斎藤 円 188

chapter

14

精神科の薬とCYP

189

①CYPの影響で、薬の効果が強く出てしまった症例／②“初回通過効果”と“薬物相互作用”／③薬を投与して過鎮静となった場合、薬物相互作用にも注意する／④痛みに対するセロトニン作用薬の併用に注意する

コラム リエゾン精神科医の魅力とは？～その精神症状は身体疾患に伴うものかも？ 中神由香子 199

chapter

15

慢性疼痛に対するアプローチ

200

①慢性疼痛の患者さんに対して、多くの精神科の薬を処方してしまった症例／②慢性疼痛には心理的な要素が加わりやすい／③慢性疼痛の患者さんへの対応で気をつけるべき5つのしくじりポイント／④おわりに

コラム 「橋渡し」というたしなみ 田中裕記 213

- 索引 214
- 薬剤名索引 216
- 著者プロフィール・コラム執筆者一覧 218